

# ポーランド・マクロ経済情勢

2018年2月  
在ポーランド日本国大使館  
経済班

## ポイント

### 1 経済成長率は上昇基調

2017年のGDP成長率は4.6%（推計）で、経済成長率は大幅に伸びている（2016年は2.8%）。政策金利は史上最低の1.5%を維持している。

### 2 生産、消費は拡大傾向

12月の鉱工業生産は前年同月比2.7%増。小売販売は対前年同月比5.2%増で、消費は拡大傾向が続いている。小売販売は2016年11月から対前年同月比5%を上回る状態が続いている。

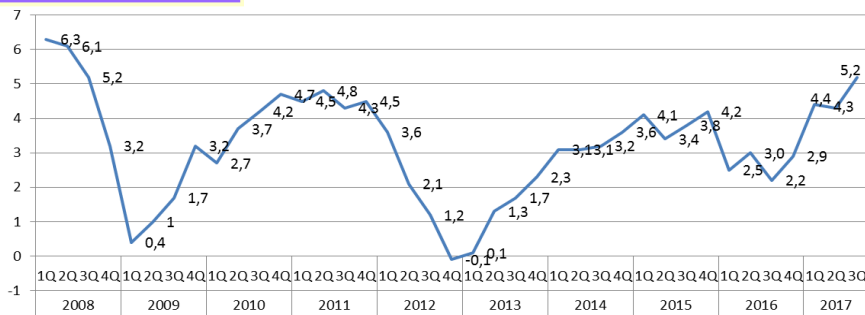
### 3 物価は上昇傾向が継続

12月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比2.1%上昇。2017年5月まで5か月連続で中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限（1.5%）を超えていたが、6月になり下限値まで下落。7月以降は徐々に上昇している。

### 4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

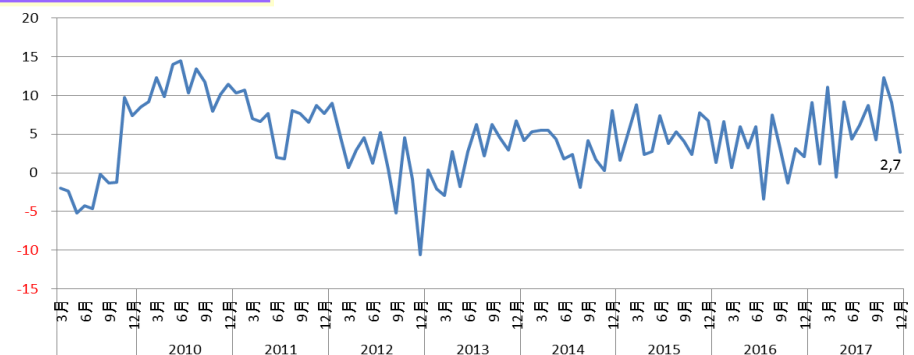
12月の失業率は6.6%、平均賃金上昇率は対前年同月比7.3%増と雇用情勢は改善している。

### 経済成長



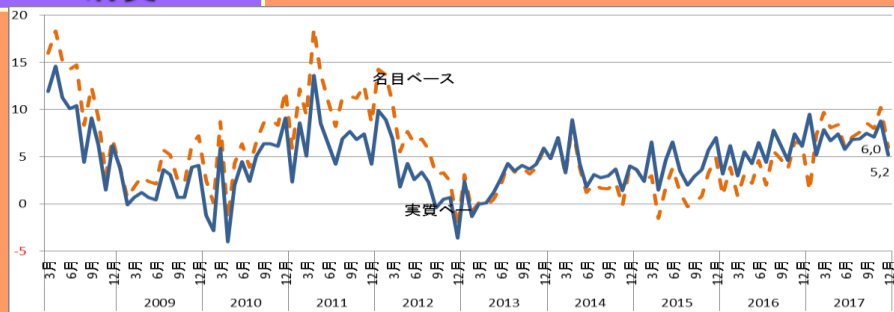
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

### 生産



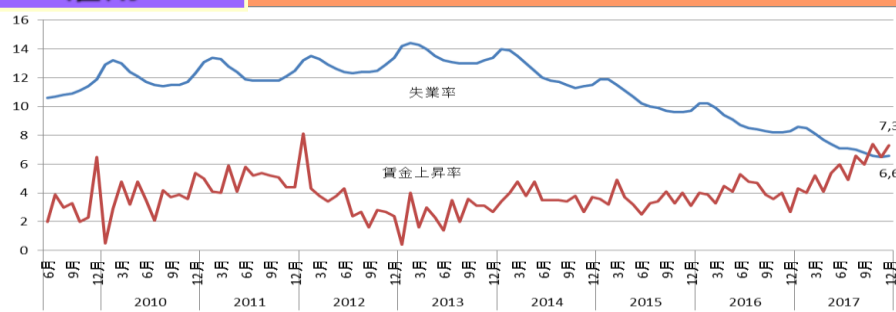
鉱工業生産は4月にマイナスとなったが、その後順調に拡大を続けている。12月の鉱工業生産及び小売販売の伸びは前月より緩やかであったが、引き続き拡大傾向にある。

## 消費



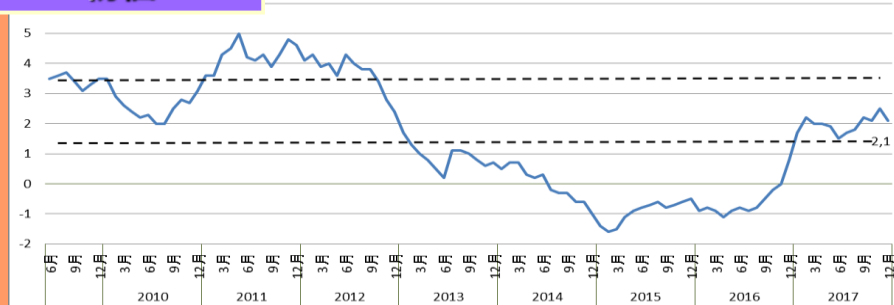
12月の鉱工業生産は前年同月比2.7%増、小売販売は対前年同月比5.2%増と前月より伸びは緩やかであった。

## 雇用



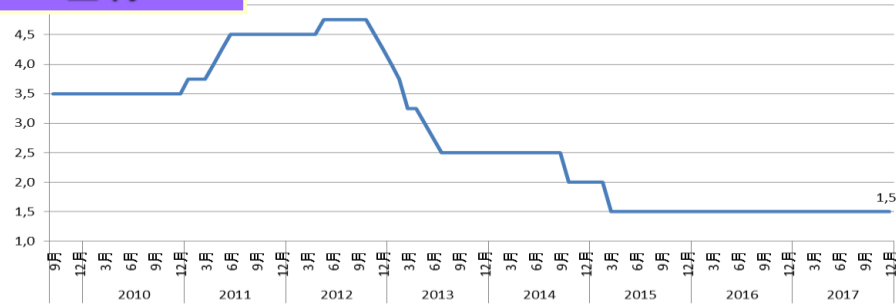
12月の失業率は6.6%、平均賃金上昇率は対前年同月比7.3%増と雇用情勢は引き続き改善傾向にある。

## 物価



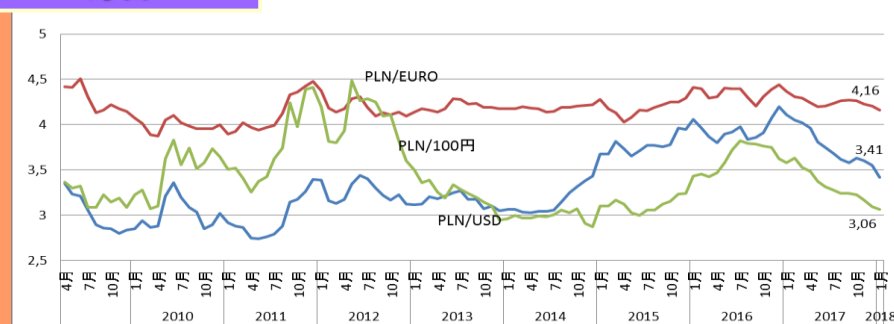
12月のCPIは対前年同月比2.1%上昇。中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の範囲内に収まっている。

## 金利



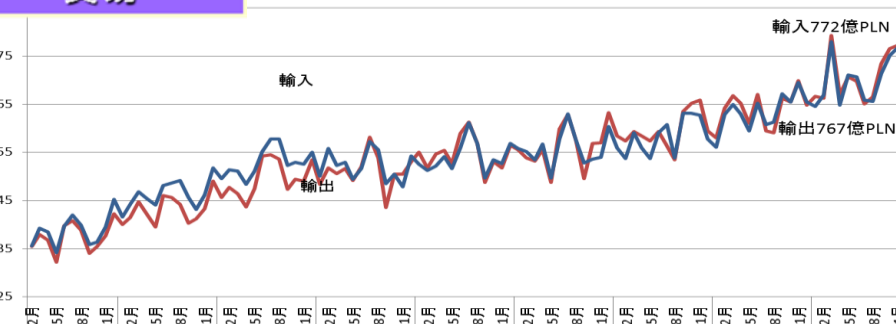
政策金利は2015年3月以来、史上最低の1.5%を維持している。

## 為替



1月の平均為替は、対日本円で3.06ズロチ、対ユーロ4.16ズロチ、対ドル3.41ズロチとなり、12月よりズロチ高が進んだ。

## 貿易



11月の輸出は772億ズロチ、輸入は767億ズロチで5億ズロチの貿易黒字となった(10月の貿易黒字額は26億ズロチ)。